



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

令和4年度 森林教室・自然再生活動の開催について

令和4年度の森林教室・自然再生活動についてお知らせします。

お申し込みの前に以下の項目について確認を行ってください。

①以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせてください。

- ・体調がよくない
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる者がいる
- ・過去2週間以内に入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②募集期間からイベント当日までに、再度、感染拡大の傾向が発生した場合は、イベントを中止することがあります。

③イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに当センターまでご連絡ください。

◎第1回森林教室

【初夏のブナ林と湖沼巡り】

開催日：令和4年5月28日（土）

開催場所：青森県西津軽郡深浦町 十二湖内

募集定員：20名

参加費：500円（傷害保険料）【※1】

その他：昼食・雨具・マスクを持参

募集期間：5月2日（月）～

5月17日（火）まで

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

応募方法：電話・FAX・ハガキにてお申し込みください。

詳細につきましては、ホームページ又はチラシでご確認ください。



青池

【※1 参加人数により変更する場合があります。詳細については、参加者へ発送する開催要項でお知らせいたします。】

以下の日程につきましては、詳細が確定次第「白神の絆」でお知らせいたします。
また、以下のイベントは開催場所が変更となる場合があります。

◎第1回自然再生活動

～水を育む ブナ林再生教室～

開催日：令和4年7月16日（土）

開催場所：【予定】青森県中津軽郡西目屋村 暗門

◎第2回自然再生活動

～元の天然林をめざし、

ゆっくり時間をかけて再生への一歩～

開催日：令和4年9月10日（土）

開催場所：【予定】青森県中津軽郡西目屋村 暗門



自然再生活動（苗木採取）

◎第2回森林教室 【タイトル未定】

開催日：令和4年10月22日（土）

開催場所：【予定】青森県中津軽郡西目屋村 暗門溪谷

人事異動（令和4年3月31日付及び4月1日付）

○お世話になりました

所 長 田中 裕治 →退職（令和4年3月31日付）

農林水産技官 木村 航汰 →東北森林管理局 仙台森林管理署 主 事
（根白石森林事務所）

○よろしくお願ひします

所 長 高木 善隆 ←東北森林管理局 森林整備部企画官

（間伐推進担当）

専 門 官 中和 範雄 ←環境省 福島地方環境事務所

浜通り北支所拠点区域除染担当 専門官

【お世話になりました】

前 津軽白神森林生態系保全センター 所長 田中裕治

このたび3月31日をもちまして退職することになりました。

令和2年4月に津軽白神森林生態系保全センターに着任し、2年間という短い期間でしたが世界遺産白神山地で仕事できた事は良い経験になりました。

着任当時の2年前と言えば、コロナウイルス感染が拡大（第一波）し始めの頃でもあり、当センターで予定していた「森林教室」「巡視員会議」等いろいろな行事が、中止または書面会議と今までにない対応となり予定した行事の半分しか実施できませんでした。

2年目は好転するかと思いきや良くなる気配もなく、前年と同じ対応となりとても残念な思いで、3月31日を迎えました。早く、コロナウイルス感染が終息することを

願うばかりです。

「白神の絆」をご愛読して下さる皆様、白神山地関係機関の皆様には大変お世話になりました。

令和4年度以降も、津軽白神森林生態系保全センター職員へ変わらぬ御支援をお願いいたします。

仙台森林管理署 主事 木村 航汰

2年前に新規採用として当センターに配属が決まった時は、私の好きな自然や生物に触れ合うことができるという期待と楽しみな気持ちでたくさんでした。実際に仕事をしてみると、白神山地のパトロールで沢や登山道、指定ルート等を歩いたりして、白神山地の景色や自然の壮大さを感じ、私にとってとても刺激的な経験をすることができました。また各イベントを通じて小学生からご高齢の方まで様々な方々と出会い、そして楽しみながら自然や森林の大切さを伝えるという、貴重な時間を過ごすことができました。

この2年間は本当に短い時間だったと感じており、個人的にはあと半年はセンターで仕事をしたかったとも思っております。しかし、地元が青森ですので異動後も時々こちらに帰って来て白神山地を訪れようと思っているところです。

今回の異動で地元と白神山地というフィールドから離れると思うと寂しい気持ちになってしまいますが、新天地では新しい仕事に精一杯励もうと思えます。これまで共に白神山地の保全に尽力してくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

【新体制で新たにスタートします】

【職員から一言】

所長 高木 善隆

このたび、4月1日付け人事異動で津軽白神森林生態系保全センター所長を拝命した高木善隆です。

生態系保全などに関する業務は初めてですが、世界自然遺産に登録されている白神山地の貴重な生態系の管理と適切な利用の促進に務めたいと考えています。

当センターのフィールドは、青森県南西部と秋田県北西部にまたがる約13万haのブナの原生林を主体とする原生的な天然林が、純林状態で維持されている希少な地域であり、貴重な動植物も生息等しておりますが、ニホンジカの生育域が拡大して目撃事例も増加しており、白神山地周辺の森林生態系への影響が懸念されており、自動撮影カメラ調査などによりニホンジカの監視体制の強化など地元自治体や関係機関と連携して取り組みを進めます。

また、自然再生活動や森林環境教育については、地域住民やボランティア団体等のご支援を得ながら、活動を進めていきたいと思えます。

これまでと同様に、地域に親しまれる津軽白神森林生態系保全センターとなるよう活動して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

自然再生指導官 赤澤友光

昨年10月に当センターに赴任し、津軽ではじめての春を迎えました。

現場の山でも、キクザキイチゲやカタクリ、ニリンソウを見かけるようになり、長く厳しい冬を経て、ようやくそこかしこに春を感じるようになりました。冬期間は活動できる現場も限られておりましたので、春を迎え、これから白神山地及びその周辺地域の山を歩き廻り、早く現場を把握したいと思います。

新型コロナウイルスの感染状況は、未だ予断を許さない状況で、自然再生活動や森林教室といった私たちセンターのイベントも、なかなか先を見通せないところがありますが、職員一同、一所懸命に準備を進めていきたいと思っておりますので、ふるってご参加いただけたら嬉しく思います。

皆さんと白神の山でお会いできるのを楽しみにしております。

専門官 中和 範雄

4月1日付の人事異動で津軽白神森林生態系保全センターに着任しました中和範雄です。

前任地は環境省福島地方環境事務所浜通り北支所浪江分室で、ここでは浪江町の除染業務に従事しておりました。

福島第一原子力発電所の事故により、浪江町は、ほとんどの地域が帰還困難地域に指定され、その中で、町側で地区を割り振った計画に対して、環境省側で、順番に除染作業を進めていました。

その中で、主に、住民からの苦情、要望を聞き、環境省としての立場で、何が出来て、出来ないのかを、苦情、要望を寄せた住民に対して、説明をすることが、一番重要でかつ大変な業務でした。

当センターでは、森林教室等、地域の方々と接する機会があるとのことですので、それを期待し、新たな気持ちで取り組んでいきたいと考えております。

こちらでも、前任地同様、一昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業務に支障が出ているとのことでした。

コロナ禍にあっても、センターとして、何が出来るのか、出来ないのかを明確にし、地域の皆様に情報発信が出来ればと思います。

非常勤職員 下山 優美

令和3年度も2年度同様に、様々なイベントの変更が発生する等と思うように事が進まなかった一年に感じられましたが、今年度は少しでも計画通りに進む事ができればと願っております。

皆様と笑顔で、またお会いできることを希望しつつ、今年度もよろしく願いいたします

【お詫び】

毎年掲載してきました集合写真ですが省略させていただきます。ご了承ください。